



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 山九株式会社

上場取引所 東 福

コード番号 9065 URL <http://www.sankyu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 公大

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 酒井 宏道

TEL 03-3536-3939

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|--------|------|--------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第2四半期 | 284,865 | △0.4 | 19,189 | △2.2 | 19,211 | △2.0 | 12,729 | △4.0 |
| 2019年3月期第2四半期 | 286,060 | 10.3 | 19,622 | 31.0 | 19,599 | 29.8 | 13,257 | 34.7 |

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 11,159百万円 (△8.3%) 2019年3月期第2四半期 12,168百万円 (15.8%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第2四半期 | 210.38 | — |
| 2019年3月期第2四半期 | 219.10 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年3月期第2四半期 | 415,511 | 206,579 | 49.1 |
| 2019年3月期 | 409,513 | 198,355 | 47.9 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 203,870百万円 2019年3月期 196,190百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | — | 55.00 | — | 55.00 | 110.00 |
| 2020年3月期 | — | 55.00 | — | — | — |
| 2020年3月期(予想) | — | — | — | 50.00 | 105.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※中間配当の修正につきましては、本日(2019年10月31日)公表いたしました「中間配当の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|------|--------|------|--------|------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 568,900 | △0.6 | 36,700 | △6.5 | 36,700 | △6.3 | 24,100 | △12.3 | 398.33 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2020年3月期2Q | 65,215,606 株 | 2019年3月期 | 65,215,606 株 |
| 2020年3月期2Q | 4,712,306 株 | 2019年3月期 | 4,711,316 株 |
| 2020年3月期2Q | 60,503,936 株 | 2019年3月期2Q | 60,506,290 株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 10 |
| (会計方針の変更) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

※「山九のユニーク」マーク



1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米中貿易摩擦の激化などを背景とした低迷が続いており、引き続き不透明な状況が続いております。米国では個人消費は依然底堅く推移しているものの、設備投資が減速しており、実質GDP成長率は第1四半期に比べ、低下しています。中国では米中摩擦の長期化・深刻化が輸出全体を押し下げているほか、製造業投資の減速が目立つ展開となっています。アジアではGDP成長率が前期比で低下した国が多く、中国の景気減速を背景に各国の輸出の減少や鈍化が顕在化してきました。国内経済では、外需を取り巻く環境に減速感が色濃く表れてきたことに加え、消費税増税前の駆け込み需要も前回増税時ほどのインパクトはなく、力強さを欠く展開となりました。

このような経済情勢の下、当社連結グループは、動員力の更なる強化に向け、人財の確保と育成、ならびに協力会社との良好な関係の構築を図るとともに「働き方改革」の着実な実行のため、生産性向上や、スキルアップに向けた時間の創出、ワークライフバランスの確保などの視点に立った施策に積極的に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,848億65百万円と前年同四半期比0.4%の減収、利益面においては、営業利益が191億89百万円と2.2%、経常利益は192億11百万円と2.0%、親会社株主に帰属する四半期純利益は127億29百万円と4.0%のそれぞれ減益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 物流事業

港湾事業では、輸出梱包作業や主要船社の特に中国航路のコンテナ取扱量が減少となりましたが、港頭倉庫での保管・荷役作業等は増加となりました。国際物流事業では、前期大型プロジェクト輸送案件および中国での国際貨物の取扱量等が減少となりました。3PL事業では、中国での自動車部品や消費財物流の減少はあるものの、国内での化成品輸送や関東を中心とした消費財輸送の増加に加え、取り組みを継続している輸配送単価の改善がシナジー効果となり、増収増益となりました。構内作業では、台風影響による原料荷役・輸送作業の減少等はあったものの、インフラ関連資機材の構内生産量増加に加え、作業単価の改善も進み、物流事業全体で増収増益となりました。

売上高は1,437億34百万円と前年同四半期比1.0%の増収、セグメント利益（営業利益）は54億63百万円と前年同四半期比17.3%の増益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高に占める割合は50.5%であります。

② 機工事業

設備工事では、前期の大型解体工事、電力関連定検工事、構内設備増強工事等の減少はあったものの、国内での大型環境関連工事や海外の設備解体・生産基盤増強工事の獲得や追加付帯工事の増加があり、増収増益となりました。保全作業では、国内における日常保全作業や海外の石化関連SDM（大型定期修理工事）等に増加があったものの、当期は国内の石油・石化構内設備のSDMがマイナー年で、前期と比較した工事量は減少しており、機工事業全体では減収減益となりました。

売上高は1,277億12百万円と前年同四半期比2.8%の減収、セグメント利益（営業利益）は127億20百万円と前年同四半期比10.0%の減益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高に占める割合は44.8%であります。

③ その他

各関連工事への機材貸出し量が増加したことに加え、工程管理の強化による外注費削減や減価償却費の減少により、賃貸事業が増収増益となりました。また、橋梁架設工事等の公共インフラ整備工事も増加しております。

売上高は134億18百万円と前年同四半期比8.9%の増収、セグメント利益（営業利益）は8億85百万円と前年同四半期比25.3%の増益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高に占める割合は4.7%であります。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,052億70百万円であり、前連結会計年度末に比べ4億77百万円、0.2%増加しました。主な要因は、債権流動化の実行額を抑えたことによる受取手形及び売掛金の増加等によるものです。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は2,102億40百万円であり、前連結会計年度末に比べ55億21百万円、2.7%増加しました。主な要因は、国際財務報告基準を適用する在外連結子会社のIFRS第16号「リース」の適用による使用権資産の増加等によるものです。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,335億55百万円であり、前連結会計年度末に比べ50億78百万円、3.7%減少しました。主な要因は、1年内に償還期日が到来する社債の増加と、未払法人税および未払消費税の減少との差等によるものです。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は753億77百万円であり、前連結会計年度末に比べ28億54百万円、3.9%増加しました。主な要因は、IFRS第16号「リース」の適用によるリース負債の増加と、1年内に償還期日が到来する社債の流動負債への振替による減少との差等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,065億79百万円であり、前連結会計年度末に比べ82億23百万円、4.1%増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加と、その他有価証券評価差額金の減少との差等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末を1.2ポイント上回る49.1%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、第2四半期までの収益の実態を精査し、足元の当社グループを取り巻く経済環境等を鑑みた上で、当初に公表（2019年5月10日公表決算短信）いたしました通期の業績予想値を修正し、売上高5,689億円、営業利益367億円、経常利益367億円、親会社株主に帰属する当期純利益241億円と予想しております。

(通期 連結業績予想)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する 当期純利益 |
|-----------|---------|--------|--------|---------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 前回発表予想(A) | 565,000 | 35,000 | 35,500 | 24,000 |
| 今回発表予想(B) | 568,900 | 36,700 | 36,700 | 24,100 |
| 増減額(B-A) | 3,900 | 1,700 | 1,200 | 100 |
| 増減率(%) | 0.7 | 4.9 | 3.4 | 0.4 |

(参考 通期 個別業績予想)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-----------|---------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 前回発表予想(A) | 400,000 | 22,500 | 23,500 | 16,000 |
| 今回発表予想(B) | 406,500 | 24,600 | 25,500 | 17,700 |
| 増減額(B-A) | 6,500 | 2,100 | 2,000 | 1,700 |
| 増減率(%) | 1.6 | 9.3 | 8.5 | 10.6 |

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 35,782 | 31,498 |
| 受取手形及び売掛金 | 155,204 | 158,335 |
| 有価証券 | 1,663 | 1,799 |
| 未成作業支出金 | 3,267 | 3,678 |
| その他 | 9,077 | 10,153 |
| 貸倒引当金 | △201 | △195 |
| 流動資産合計 | 204,793 | 205,270 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 58,865 | 58,307 |
| 土地 | 60,064 | 60,231 |
| その他（純額） | 24,793 | 35,202 |
| 有形固定資産合計 | 143,723 | 153,740 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,482 | 2,140 |
| その他 | 5,483 | 5,777 |
| 無形固定資産合計 | 7,966 | 7,917 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 23,804 | 21,881 |
| その他 | 30,464 | 27,954 |
| 貸倒引当金 | △1,240 | △1,253 |
| 投資その他の資産合計 | 53,029 | 48,582 |
| 固定資産合計 | 204,719 | 210,240 |
| 資産合計 | 409,513 | 415,511 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 78,889 | 77,100 |
| 短期借入金 | 11,006 | 8,404 |
| 1年内償還予定の社債 | — | 10,000 |
| 未払法人税等 | 9,221 | 6,498 |
| 未成作業受入金 | 1,431 | 2,495 |
| その他 | 38,084 | 29,055 |
| 流動負債合計 | 138,634 | 133,555 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 20,000 | 10,000 |
| 長期借入金 | 8,985 | 15,997 |
| 退職給付に係る負債 | 29,965 | 30,302 |
| その他 | 13,572 | 19,076 |
| 固定負債合計 | 72,522 | 75,377 |
| 負債合計 | 211,157 | 208,932 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 28,619 | 28,619 |
| 資本剰余金 | 12,915 | 12,915 |
| 利益剰余金 | 160,414 | 169,816 |
| 自己株式 | △8,757 | △8,762 |
| 株主資本合計 | 193,193 | 202,589 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,623 | 4,580 |
| 繰延ヘッジ損益 | △11 | △4 |
| 土地再評価差額金 | △511 | △511 |
| 為替換算調整勘定 | △3,609 | △4,301 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 1,506 | 1,518 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,996 | 1,281 |
| 非支配株主持分 | 2,165 | 2,708 |
| 純資産合計 | 198,355 | 206,579 |
| 負債純資産合計 | 409,513 | 415,511 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 286,060 | 284,865 |
| 売上原価 | 256,399 | 255,389 |
| 売上総利益 | 29,660 | 29,475 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,038 | 10,285 |
| 営業利益 | 19,622 | 19,189 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 158 | 162 |
| 受取配当金 | 446 | 412 |
| その他 | 695 | 462 |
| 営業外収益合計 | 1,301 | 1,037 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 289 | 348 |
| 為替差損 | 647 | 200 |
| その他 | 387 | 466 |
| 営業外費用合計 | 1,323 | 1,015 |
| 経常利益 | 19,599 | 19,211 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 19,599 | 19,211 |
| 法人税等 | 6,138 | 6,337 |
| 四半期純利益 | 13,461 | 12,874 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 204 | 145 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 13,257 | 12,729 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 13,461 | 12,874 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 899 | △1,043 |
| 繰延ヘッジ損益 | 14 | 6 |
| 為替換算調整勘定 | △2,258 | △694 |
| 退職給付に係る調整額 | 51 | 15 |
| その他の包括利益合計 | △1,292 | △1,714 |
| 四半期包括利益 | 12,168 | 11,159 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 11,945 | 11,013 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 222 | 146 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|--------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 19,599 | 19,211 |
| 減価償却費 | 7,080 | 8,567 |
| のれん償却額 | 573 | 335 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △1,804 | △4,236 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △133 | 144 |
| 受取利息及び受取配当金 | △605 | △574 |
| 支払利息 | 289 | 348 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △6,033 | △2,028 |
| 未成作業支出金の増減額(△は増加) | △223 | △418 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 4,994 | △1,713 |
| 未成作業受入金の増減額(△は減少) | 2,125 | 1,061 |
| その他 | △910 | △7,747 |
| 小計 | 24,952 | 12,950 |
| 利息及び配当金の受取額 | 650 | 656 |
| 利息の支払額 | △289 | △311 |
| 法人税等の支払額 | △4,899 | △8,858 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 20,413 | 4,436 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △6,105 | △4,711 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,339 | △1,030 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入 | 305 | — |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △296 |
| その他 | 659 | △709 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △6,479 | △6,747 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 77,451 | 19,528 |
| 短期借入金の返済による支出 | △68,965 | △21,276 |
| 長期借入れによる収入 | — | 9,600 |
| 長期借入金の返済による支出 | △3,874 | △3,336 |
| 社債の償還による支出 | △12,000 | — |
| 配当金の支払額 | △2,724 | △3,324 |
| その他 | △3,347 | △2,807 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △13,461 | △1,616 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △808 | △338 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △336 | △4,264 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 28,300 | 35,653 |
| 連結子会社と非連結子会社合併による現金及び現金同等物の増加額 | 274 | — |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 28,238 | 31,388 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が11,182百万円、流動負債の「その他」が2,344百万円および固定負債の「その他」が5,517百万円増加し、流動資産の「その他」が105百万円および投資その他の資産の「その他」が3,249百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、営業活動によるキャッシュ・フローの支出が1,584百万円減少し、財務活動によるキャッシュ・フローの支出が1,584百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|---------|---------|---------|-------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 物流事業 | 機工事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 142,290 | 131,453 | 273,743 | 12,316 | 286,060 | — | 286,060 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,825 | 2,124 | 3,950 | 4,866 | 8,816 | △8,816 | — |
| 計 | 144,115 | 133,578 | 277,693 | 17,183 | 294,876 | △8,816 | 286,060 |
| セグメント利益 | 4,657 | 14,133 | 18,790 | 706 | 19,497 | 125 | 19,622 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額125百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|---------|---------|---------|-------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 物流事業 | 機工事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 143,734 | 127,712 | 271,446 | 13,418 | 284,865 | — | 284,865 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 2,732 | 2,177 | 4,909 | 4,978 | 9,888 | △9,888 | — |
| 計 | 146,466 | 129,890 | 276,356 | 18,396 | 294,753 | △9,888 | 284,865 |
| セグメント利益 | 5,463 | 12,720 | 18,184 | 885 | 19,070 | 119 | 19,189 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額119百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用しています。

これに伴う、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

【関連情報】

地域ごとの情報

売上高

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

| 日本 | アジア | 北・南米その他の 地域 | 合計 |
|---------|--------|----------------|---------|
| 240,067 | 40,894 | 5,098 | 286,060 |

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア …… 東アジア(中国、香港、台湾、他)、東南アジア(シンガポール、インドネシア、マレーシア、タイ、他)、南アジア(インド)、中近東(サウジアラビア、他)

北・南米その他の地域 …… 米国、ブラジル、欧州、その他の地域

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

| 日本 | アジア | 北・南米その他の 地域 | 合計 |
|---------|--------|----------------|---------|
| 242,409 | 38,971 | 3,485 | 284,865 |

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア …… 東アジア(中国、香港、台湾、他)、東南アジア(シンガポール、インドネシア、マレーシア、タイ、他)、南アジア(インド)、中近東(サウジアラビア、他)

北・南米その他の地域 …… 米国、ブラジル、欧州、その他の地域